

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [木津川市立木津南中学校] 担当教諭名 [宮原 麻美] (美術部 11名)
 交流相手国 [フランス]
 海外学校名 [Collège Jean Lurçat] 担当教諭名 [Florent Large]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	クラブ活動	アートマイルプロジェクトで世界とつながろう	80

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Fairy Tales Across the Land (おとぎ話は大陸を越えて)
絵に込めたメッセージ	日本にむかし話があるように、フランスにも同じようにおとぎ話や伝説があると知りました。異なる2国の色合いや空気感を融合し、本当の意味で一枚の絵にしあげていきたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今年で6年目になるが、今年はテーマについてより深く考えたり、話し合ったりできたと思う。生徒たちは、フランスに対してあまり知識がなく、調べ学習で新たに学ぶ事が多かったようだ。壁画の制作には、休日返上で頑張った。完成作品を見て、美術的な表現方法の違いや色彩の鮮やかさに驚き、感心していた。	フォーラムで相手校の先生とは交流できたと思うが、今回も生徒たちにはフォーラムのコピーでしか相手校の情報を伝えられなかったのも、やはりインターネットを大きな画面(電子黒板等)で見せたかった。こちらが提案した構図がうまく相手に伝わっていなかった。念をおしてどくらいに説明するべきだった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
テレビ会議ができなかったのも、あまり直接的な交流はできなかったが、異国の友だちの興味や感性が、自分たちと違うところに興味をもてたようだ。相手校の先生に赤ちゃんが生まれたことなども、サプライズで喜んでいて。プレゼントのお菓子もちょっと変わっていて楽しんでいた。	6年目になるが、あらためてこちらの思いをていねいに伝えていく必要を感じた。具体的には生徒が提案した構図をフォーラムに図入りで説明し、下絵も入れて送ったのだが、完成作品は違っていたので…。生徒は気落ちもせず良い所を評価していて感心した。男の先生が育児休暇を取られたのにも少し驚いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	10月	自己紹介カードやそれに貼るカラーの絵を描いた。	相手校の自己紹介カードが先に郵便で届いたので、モチベーションが上がったようだ。ALTの先生に英語の表現を聞いたりして、工夫していた。	クラブ活動
テーマ学習	9月 10月	フランスの歴史や文化、食べもの等々…思い思いのテーマで調べ学習をし、発表した。主に学校図書館、それから各自の自宅でネットを使い調べていた。	フランスについて、案外知らないことが多かったようだ。特に自由を勝ち取るための革命など…。初めてのヨーロッパの相手国だったので興味もあったようだ。	クラブ活動
構図決定	10月	調べ学習の発表後、印象に残ったことを付せんを使って、色々なキーワードを出し合い、テーマを決めていった。	学年関係なく、いろいろなイメージを出し合うことができたので、広がりがあった。結局1年生の案をふくらませる事に。	クラブ活動
壁画制作	11月 12月	例年より、アイディアスケッチ作りで手間取っていた。時間もかかったが、じっくり検討したので、いい構図ができた。	下絵の案が決まるまで、少し中だるみの時期があったが、クラブ全体の雰囲気は悪くならず、良かった。相手校のフォーラムの記事を楽しんでいた。	クラブ活動
鑑賞・振り返り	3月	3月中旬に完成した壁画が到着。春休みの前だったので、感想の交流しかできなかったが、新年度全校に紹介し、校内に展示する予定。	自分たちの提案した構図と違って驚いていたが、気落ちする様子もなく、相手校の良い所をたくさん見つけて感心していた。	クラブ活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	3	日本の昔話を各自が調べて交流しあった。よく知っている物語が主だった。
異文化の理解	B	3	調べ学習で興味をもって、発表できたから。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	生徒たちが英作文をしたり、翻訳したりできればよかったが、余裕がなくてできず残念だった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	3	前年度と同様、コンピュータ室の利用がしづらかった。今度電子黒板が入ったので、これを活用していけたらと思う。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	部内では、ふだんよりコミュニケーションの機会が増えて、相談や評価の場面が多く見られた。相手校とは、個人との交流は不十分だった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	壁画を完成させるまで、休日も丸1日使って協力しあいながら粘り強く制作に取り組めた。
学習を追究する意欲	B	4	過去の先輩たちの壁画作品を見て、自分たちも…とモチベーションを高くもてた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	下絵を発展させながら、各自が自分の分担を仕上げる事ができた。着物の柄なども調べて描くことができた。
作品を鑑賞する力	A	5	届いた壁画を見て、すぐに具体的に感想を述べる事ができた。完成作品の絵のクオリティの高さに感心していた。